

統合化推進プログラム 概要紹介

統合化推進プログラム総括
九州大学 大学院医学研究院
伊藤 隆司

統合化推進プログラムとは

JST-NBDCが2011年に開始した事業

これまでに3期（3年/3年/5年）で延べ32課題を支援

- データベースの分野別統合化または目的別統合化、ならびに散在しているデータベースの統合化
- 公共財としてのDB、データの価値の最大化
- データ提供者やデータ利用者との密接な連携と協業

2022年度から第4期がスタート

今年度採択の6課題

バイオイメーシングデータのグローバルなデータ共有システムの構築

大浪 修一

統合的な転写制御データ基盤の構築

粕川 雄也

ヒトゲノム・病原体ゲノムと疾患・医薬品をつなぐ統合データベース

金久 實

異分野融合を志向した糖鎖科学ポータルデータの拡充と品質向上

木下 聖子

蛋白質構造データバンクのデータ駆動型研究基盤への拡張

栗栖 源嗣

マイクロバイオーム研究を先導するハブを目指した微生物統合データベースの特化型開発

森 宙史

本プログラムに求められるもの

広範なユーザーの知識発見の支援

- ホントに使って貰えるようなユーザー目線の徹底
(公共データの利活用促進は、日本の生命科学者の多様性保全に貢献)

国際的なプレゼンス

- 協調 and/or 突出

課題間の相乗効果

- 実効的な連携
- データ統合の利活用事例創出

新しい動向を先取りした挑戦



視聴者の皆さんの積極的なDB利用とフィードバックをお願いします！

本プログラムでもうひとつ実現したいこと

DBのライフステージに応じた支援の複線化

- 本格的支援による成長・確立
- 別枠の支援による維持・継続
- 試験的支援による発掘・育成

統合化推進プログラムへのご協力を！

1. 既存課題DBの利用とフィードバック
2. データ統合の利活用事例創出
3. 現在検討中の「育成型」への応募